

奈良 Vol.12

くらし手帳

生活に密着した
暮らしに役立つ情報を
わかりやすくご紹介。

**ノロウイルスが
流行する
季節です!**



電子顕微鏡写真

ノロウイルスについて

主な症状……おう吐・下痢・腹痛・発熱
潜伏期間……感染から発症まで24〜48時間
感染経路……食品・感染した人が調理した物・ウイルスが付いて、加熱不十分な二枚貝など
注意……患者の便やおう吐物・飛沫など

早めに医療
機関を受診
しましょう!

トイレは定期的に消毒を

汚染されやすいトイレのドアノブ、便座、床等は清掃後、塩素系消毒液(200ppm)で浸したペーパータオル等で拭き、水拭きすることで二次感染のリスクを減らすことができます。

塩素系消毒液(漂白剤)について

市販されている塩素系漂白剤(塩素濃度5〜6%が一般的)を希釈して使用します。
 (例)200ppmの塩素系消毒液の作り方。
 ①6%の塩素系漂白剤を利用する場合、漂白剤4mlに対して水1ℓを入れます。

**調理前・食前・
排便後には手洗いを**

石けんではウイルスは死滅しませんが、手から剥がれやすくなります。



**台所や調理器具は
清潔にしましょう**

まな板、包丁、ふきん等の消毒には熱湯85℃以上(1分以上)の加熱が有効です。



※製品の濃度をしっかり確認しましょう。
 ※消毒液は作り置きせず、その都度作り替えましょう。
 ※作業中、塩素ガスの発生には十分注意し、窓を開けて換気しましょう。ノロウイルス感染によるおう吐や便の汚物の処理については、塩素系消毒液(1,000ppm(B)を使用します。詳しくは下記HPをご確認ください。

奈良 Vol.17

ゆかり探訪

知ればその国の人に話したくなる、
外国とのゆかりをご紹介します。

長谷寺の牡丹と馬頭夫人

百花の王として名高い牡丹の花。奈良では、150種・7,000株の花が咲き誇る長谷寺(桜井市)が名所の一つとなっています。長い登廊に開く大輪は、ため息が出るほどの美しさです。この牡丹は、中国が原産です。繁栄のシンボルとして、楊貴妃にも愛されたそうです。



境内いっばいに咲き誇る牡丹の花

さて、長谷寺の牡丹は中国にゆかりを持つという伝説をご存じでしょうか。ルーツは、唐の時代にさかのぼります。皇妃・馬頭夫人は、やさしい気立てにより皇帝の愛を一身に集めたため、それをねたむ他の夫人から容貌を悪く言われ、悩んでいました。彼女は、悩みを

解決するため、長谷の観音さまにお祈りしました。霊験あってか美しくなった彼女は、お礼にもろもろの宝物を長谷寺に送り、それに数株の牡丹が添えられていました。これが、長谷寺の牡丹のはじまりとなったそうです。長谷寺の牡丹には、海を越えて今も昔も変わらない女性の願いがこめられているのです。
 とところで、牡丹の花期は4〜5月ですが、実は冬でも牡丹を楽しんでいただくことができます。長谷寺では、ワラを用いた温度管理によって、1月いっぱいには寒牡丹を鑑賞することができます。春が待ちきれないという方は、訪れてみてはいかがでしょうか。

